

地域における母子保健評価方法策定に関する研究

母子保健システムに対する満足度評価の方法に関する研究

森 本 兼 曩*

要約： 母子保健システムが利用者の母子保健問題のニーズに対していかなる整合性を持ち、かつ、これらの保健ニーズを持っている患者主体（利用者）の満足度をどの程度満たしているかについて、それを評価する方法論を検討した。評価方法としては面接並びに自記式アンケートを新たに設計しそれによってニーズの質と量を評価するとともに、具体的な母子保健システムを利用した側からどの程度の満足度を与えられているかについての検討を行うことの意義と重要性について検討した。

見出し語： 母子保健システム、充実度評価、満足度評価、自記式質問用紙、

研究方法： 母子保健システムが母子に生ずる健康問題を解決するのみならず、母子の健康増進や生活満足度の向上にも寄与する質的充実が求められている。これらに鑑み本分担研究では、新たに母子保健システムに対する利用者側のニーズと具体的な地域の母子保健システムを利用した際に与えられた満足度を総合的に評価することにより、医療提供者側の発想から利用者側中心の母子保健システムの充実に関する新しい局面を開拓することを目的として、これらの各項目を評価するための新たな面接並びに自記式質問用紙の概略

設計について検討を行うこととした。まず今年度は、地域母子保健システムに対する利用者側のニーズを中心に上記見出し語を主題とする文献の探索を行う。

結果と考察： 特定の母子保健システムを持つ地域への母子保健問題に関する充実度満足度の改善を見るために、母親の日常生活習慣（ライフスタイル）、性格（エゴグラム）、生活出来事、日常苛立ち事、自覚的ストレス量、並びに抑鬱度を評価し、3才児検診等の乳幼児における検診システムを含む現行母子保

*大阪大学医学部環境医学教室

(Osaka University School of Medicine)

健システムに対する満足度がこれらの個別の状況とどのように関連を持つかをまず検討することが最も重要と思われた。また同時に家族構成や小児の健康破綻に対する重要度評価なども一般的な face sheet 質問項目に加え、

上記重要項目との関連性を検討することが必要と判断された。上記の構成を持つ質問票を作成するとともに 50～100人規模のプレテストを行い、次年度以降に本格的な調査研究の可能性について検討を継続する。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:母子保健システムが利用者の母子保健問題のニーズに対していかなる整合性を持ち、かつ、これらの保健ニーズを持っている患者主体(利用者)の満足度をどの程度満たしているかについて、それを評価する方法論を検討した。評価方法としては面接並びに自記式アンケートを新たに設計しそれによってニーズの質と量を評価するとともに、具体的な母子保健システムを利用した側からどの程度の満足度を与えられているかについての検討を行うことの意義と重要性について検討した。